



ごみ減量のためにできること

市民の皆さんへ

① 生ごみのもとを減らす

- 食材は必要なものだけを買ひ、無駄なく使い切るようにしましょう。調理したものは残さず食べ切ることで、生ごみの発生を減らすことができます。

② 生ごみの水切りを徹底する

- 生ごみの約80%は水分。水切りをするだけで、ごみの重量を約10%削減することができます。ごみ袋にぬれたまますぐ入れない、乾いているごみはぬらさないで捨てる、野菜を洗う前に使わない部分を切る、水切りネットを押し付けてしぼるなどがコツです。

③ 生ごみ処理器を利用する

- 生ごみ処理器を購入する市民に補助金を交付しています(要件あり)。5分の1まで減量できる処理器もあります。
- コンポストはダンボールで簡単に自作できます。

④ 会食や宴会のときには「30・10運動」で残さず食べましょう

- 会食や宴会では最初の30分と最後の10分は料理を楽しむ、食べ残しを減らしましょう。
- 外食時は食べ切れる量を注文し、残さず食べて「食品ロス」を削減しましょう。

市の取り組み

① “もったいない”をキーワードに「食」に関する環境教育の実施

- 紙芝居で園児に読み聞かせをします。食べ物大切さを理解してもらいます。
- 小中学校を訪問し、給食の残飯を減らすための活動を行います。

② 飲食店などに事業系生ごみ低減を呼び掛け

- 「30・10運動」のチラシやポップを飲食店に掲示してもらいます。
- ごみ減量のモニター店舗を募集し、取り組み前後の排出量を比較して効果を発表し、取り組みの輪を広げます。

③ 資源ごみのうちリサイクルできる有価物を回収する団体へ奨励金を交付

- 瓶や古紙などの有価物を回収する団体に奨励金を交付し、ごみ減量化を進めます。

④ 「ごみ減量化の取り組み」の理解促進

- 各区や団体に対して職員が出前講座を実施し、地域単位でごみ減量への理解を深めます。

目指せ！ 家庭ごみ10%減量

ちょっとした工夫で簡単にできる、ごみの減量。経費の削減にもつながる環境に優しいエコ活動を、今日から始めてみませんか。

【問い合わせ先】環境課 ☎0968(25)7217

「目標は市民1人当たり1日60gのごみを減らすこと。分かりやすく例えると、卵1個分の重さです」。そう話すのは、市環境課廃棄物対策係の小澄秀之係長。6月の環境月間をきっかけに、ごみの減量を目指す取り組み「家庭ごみ10%減量化キャンペーン」を始めました。

大量廃棄に食品ロス。現代生活は使い捨ての文化が根付き、本市のごみの排出量は年々増えています。小澄係長は「ごみの収集や処分に加え、処理施設の維持や管理はお金や労力がかかります。総費用は年間で約5億1150万円。これは、市民1人につき年間で約1万343円かかる計算になります」と明かします。

本市で発生する家庭ごみは1人当たり1日約560g(平成28年度)。「来年3月までに家庭ごみを10%減らし、1日当たり500gに抑えたい。ごみが減ると、個人の負担額の軽減にもつながります」と小澄さんは説明します。

1日で卵1個分の削減を

ごみ削減のため啓発活動

目標の達成に向け、市はさまざまな活動を始めました。小中学校では給食の食品ロスをテーマに講演。「もったいない」をテーマに好き嫌いを残さず食べる大切さを伝えています。「若い世代が考えてくれると将来的なごみ削減につながるし、家族に話すことで大人にも減量の意識が広がります」と小澄さんは効果を期待します。

取り組みは家庭ごとにとどまりません。商工会にごみ減量キャンペーンの趣旨を説明。市内の飲食店に食品ロスを少なくするポスターを掲示することで、事業系生ごみの削減も狙います。「菊池は自然が豊かなまち。キャンペーンに関係なく、ごみ削減の意識が根付いてほしい。地道に活動していきたいですね」

60gは卵1個分。
ちょっとした心遣いで
ごみは減らせます！



環境課廃棄物対策係長
小澄秀之

家庭でも
ごみ減量
実践中です！

無理なくできることを実践してほしい

ごみの減量は機械的な数値の問題ではないと実感しています。資源や環境に配慮する心を持つと、自然と実践できる取り組みもあると思います。食品ロスも、食事を作った人や食材の生産者の思いまで考えると、さらに意識して行動できるかもしれません。ただ、あくまでも減量は無理なくできる範囲で実践してほしいです。負担に感じてしまうと続きません。たとえ少しの行動でも、一人一人が意識するだけで長期的には大きな削減が期待できます。皆さんで目標を達成できるように頑張しましょう。

生ごみの水切り **ひと工夫**

料理で出る生ごみは、水を切るだけで大幅に重量を減らせます。ちょっと工夫するだけで実践できるごみ減量のコツを紹介します。



身近な道具で手軽に水切り
ペットボトルを押し付けると手を汚さずに水切りができます。



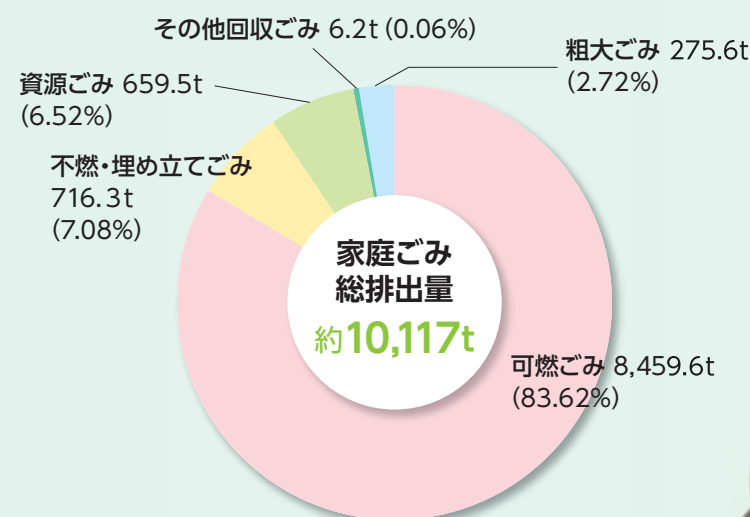
野菜の皮をむくときは
シンクではなく、調理台の上で皮むきすると、水が付かないまま捨てられます。



ごみの水を切る時に便利
シリコン製の三角コーナーは、ごみを入れたまま水を切れます。



市の家庭ごみ排出量(平成28年度)



1人当たり1日のごみ排出量は

$10,117\text{t} \div 49,455\text{人} \div 365\text{日} = \text{約}560\text{g}$

※1年間の家庭ごみの排出量 ÷ 市の人口(平成29年3月31日現在) ÷ 365日

目標は

500g

